

北九州市立大学同窓会
兵庫支部女性会員各位

世話人 西村洋子(41 米英)
福原照世(44 中国)
檜崎栄子(50 国文)

第 6 回スマレ会のご案内

春暖の候、皆さまお健やかに過ごしのことと存じます。

第 6 回のスマレ会は神戸布引のロープウェイに乗って絶景の空中散歩の後、展望レストラン「ハーブダイニングブッフエ」で開きます。『聞いて、話して、食べて、楽しむ』食事会をすることになりました。

平成 24 年に第 1 回のスマレ会を開いて以来 5 年が経過しました。世話人の 3 名も個人的には健康問題等いろいろ抱えながらも歳月を重ね、お陰様でそれなりにどうにか成長することができました。

今回はこれまでのそれぞれの年の感想等を交えながら 5 回分の出会い等を振り返りつつご案内させていただきます。

第 1 回 福原さんの紹介で三宮駅横の「モード和食 WADA」で自己紹介が始まった。それぞれが、自分の中の話したい事だけを話し、それを聞きながらおしゃべりな神戸食材懐石をいただく。

「皆さん、ホントに来て下さるかなあ」と世話人たちは内心ドキドキしていた。

第 2 回 尼崎の古民家レストラン「ひろ田」で美しい庭園を眺めながら、おしゃべりと食事。希望者はその後、移動して美しい色合いの「チケット入れ」製作に挑戦。檜崎さんの自宅で製作。「チケット入れ」は海外旅行の際に乗り換えチケットが一度に収まり、重宝している。

第 3 回 芦屋駅の上にあるモンテメール街のインド料理「シャンティ」でインド料理を食べながら、山中道子先輩(S24 外専卒)の半生を人生セミナーとして聞く。ポツリ、ポツリと話される人生ドラマは感動的だった。この 3 か月後に山中さんは 99 歳の人生を終えられた。合掌。

第 4 回 元町の「パレス神戸」で増田照美さん(S40 米英)の「短歌で彩るイキイキ人生」の話聞く。短歌に興味のある男性会員 3 名もオブザーバーとして参加。詠まれた短歌を聞いて涙が出たのは初めての経験だった。みんな感動した。その後は、神戸の懐石とビールで自由なおしゃべりを楽しんだ。

第 5 回 宝塚駅近くの「お屋敷・宝塚苑」で美しい庭園を眺めながらの昼食会。その後、この近辺に詳しい福原さんに案内してもらって宝塚大劇場まで花の道を散策した。川べりの心地よい風に吹かれて、お茶しながら、おしゃべりを楽しむ。話に花が咲いてしまい夕暮れ時まで、時を忘れていた。

以上のような経過を辿って、**今回第 6 回はお子様連れの参加が OK です。** お子様に参加の場合は、皆で見守りながらおしゃべりを楽しみませんか？（遊具も少し準備します。）

スマレ会は年に一度とはいえ、卒業年度は違っていても会で出会うと面識の有無にかかわらず、不思議なものでどこか懐かしく、それでいて新しいお知り合いになってきました。元気をもらい合える知り合いが増える事でしょう。